

いずれは春野に貢献したい

(右) ^{むら た たかゆき}村田 敬之さん(50歳)

(左) ^{むら た みわ}村田 美和さん

春野地区より



キュウリの栽培を始めて2年目になりました。就農した当初は、ハウスの中の暑さになかなか慣れませんでした。キュウリが無事に収穫できた時の喜びには代えられません。

1年目は勢いで何とか栽培しましたが、2年目は温度や湿度調整をしたりと新しい挑戦をしながら日々学んでいます。キュウリ農家として土台を作り、安定した収入を得て、いずれはハウスの近くに家を建てるのが今の二人の夢です。夫婦ともに出身は町外(高知市内・日高村)ですが、就農を機に縁ができた「春野町」に今後は貢献していきたいです。

音楽の力で高知を元気に

夢は四国88箇所ではッハ(88)を献奏すること♪
ヴァイオリニスト

^{すが まりえ}須賀 麻里江さん(34歳)

夫の仕事の関係で高知に引っ越して4年が経ちました。実際に暮らして驚いた事は、1年中「カツオのタタキ」がスーパーで買えること！直販所の多さや、スーパーにも生産者コーナーがあることにも驚きました。生で食べられる「トウモロコシ」を初めて食べた時の感動は今でも忘れられません。県内小学校の音楽授業で演奏する機会もいただきました。最近印象に残った出来事は、四国最南端にある第38番札所の「金剛福寺」で献奏したことです。高知で活動していたからこそできた経験でした。若手の育成として、高知ジュニアオーケストラ(小学1年～高校3年)の指導にもあたっています。バイオリンの個人レッスン(年齢経験問わず)も高知市内で行なっていますので、興味のある方はお気軽にお問合せ下さい。

高知地区より



※演奏会・コンサートのお知らせ
<https://www.mariesuga.com/>
※演奏依頼・個人レッスンのお問合せ
marie.infodolci@gmail.com

「高知ジュニアオーケストラ」団員募集中！
初心者、経験者問わず大歓迎！楽器レンタルもありますので、是非一度見学に来てください！
<高知県立県民文化ホールジュニアオーケストラ事務局>



高知地区

から こんにちわ
今月の〇〇 気になる人

春野地区より



高知野菜PRも兼ねて送っている「新ショウガ」
※写真はイメージです

大好きなサッカーを野菜で応援!

^{どいしの}土居 志乃さん(51歳)

70アールのハウスで新ショウガを主に栽培しています。他にも、キュウリ・タマネギ・米・ピーズを、主人(土居雄作)と私、外国人技能実習生2人の計4人で作っています。新ショウガの時期はこれからですが、定番レシピは薄切りにして「らっきょう酢」に漬けるだけ！お酢に漬けると、ほんのりピンク色になって食欲をそそられます。細切りにして天ぷらにするのもオススメです！夫婦揃って大のサッカーファンで、「高知ユナイテッドSC」を応援しています。試合観戦以外にも、選手寮に野菜を届けたり、多方面から応援しています。サッカー好きが高じて関係者の方との親交もあります。新ショウガの時期がくると、日本サッカー協会の会長を始め関係者に高知野菜を送ってPRも行なっています。

農業も女性部活動も楽しんでやっています

(中央) ^{やの ゆみ}矢野 由美さん(60歳)

(左・右) 従業員のお二人

主人(矢野恒夫)と私、従業員3人の合計5人でキュウリを作っています。もともとは夫婦2人でやっていましたが、炭酸ガスを導入してからは収穫量が増えたので今の体制でやっています。忙しい毎日の息抜きは、ガーデニング。季節ごとの花を見ていると気持ちが癒されます。女性部活動にも取り組んでいて、7月には「お味噌」、9月は「焼肉のタレ」、12月は「コンニャク」を部員で作るので、西畑に住んでいる方で地域活動に興味がある方は参加して欲しいです(40代以上の方大歓迎！)。仕事でも趣味でもそうですが、辞めるのは簡単、何でも続けることが大変なんです。女性部の役員をしていると大変な事も多いですが、県内で活動する他の女性部員と交流する機会もあります。共通の課題について話し合ったり、他地域の活動からヒントを得ることもあるのでとても刺激になります。

春野地区より



※春野町内で女性部活動に興味のある方はご連絡ください。
088-894-5660【事務局・黒住(くろずみ)】

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



今回発売されている商品

3 営農販売事業本部 首都圏で県産ミョウガPR カフェでコラボ企画実施中！

株式会社ドトールコーヒーは、スペシャルティコーヒーと日本のコーヒー文化の融合がテーマのCAFÉ LEXCEL(カフェレクセル)にて、食を通じて日本のよいものをお届けする「NIPPON食樂発見in高知」を開催中。JAグループ高知・高知県・高知県アンテナショップ「まると高知」と協業し、高知県の特産品を使用した新商品の発売などを行っています。これに合わせて、JA高知県公式アカウント「こうぐり」でもキャンペーンを実施。「高知みよが香る柚子味噌ローストチキンサンド」「高知みよが香るたけのことローストチキンの柚子ペロンチン」「高知柚子ソルトティントソダ」のいずれかを注文・撮影し、ハッシュタグ「#カフェレクセルこうぐりコラボ」を付けて投稿すると、抽選で10人の方にミョウガケーキをプレゼントします(※県内には、キャンペーンに参加できる対象店舗はありませんのでご了承ください)。JAグループ高知では、今後も県産農産物のPR活動を県外でも積極的に行っていきます。



目録を手にする伊藤教育長

1 高知地区 食農教育資材を寄贈 JAバンク高知

JAバンク高知は3月25日、高知県西庁舎で新年度の小学5年生を対象にした農業や食に関する教材などを贈呈しました。贈呈式には、JA高知信連や県教育委員会8人が出席しました。JAバンク高知では、教材本を通じて食や農業への理解を促し、関心を高めることを目的に、小学生の食農教育応援事業の一環で2008年度から取り組んでいます。式では、JA高知信連の東山英仁常務が県教育委員会の伊藤博明教育長に目録を手渡し、伊藤教育

長は「農業に興味を持つことで将来の選択肢の一つになると思う。教材は米や野菜がどのように作られて消費者に届けられていることや、新しい技術を取り入れたスマート農業についてもわかりやすく紹介している。食と農の大切さを学ぶことに役立てたい」と感謝を述べました。

寄贈した教材は「農業とわたしたちのくらし」で、児童用と教師用合わせて7250冊とDVD200枚。県内の小学校や特別支援学校などで使われます。

5 高知地区 若い世代にJAをアピール 職員がラジオ出演



ラジオ出演した組織広報課の井伏華己さんと2020年度採用の田中和さんと、田中ほのかさん(後列3人)

若い世代にJAへの興味を持ってもらうと3月9日、若手職員3人がラジオ出演し採用試験への応募を呼び掛けました。高知のご当地チューバー「ちやがまらん」がパーソナリティをつとめるラジオ番組「BUZZラジ」で、JAに就職したきっかけや仕事内容、職場の雰囲気などを紹介。JAは3月1日から令和4年度職員採用の第1期選考募集を始めており、職員は「若い力で地域を元気づけたい。是非、ホームページから『採用情報』へ気軽にアクセスして欲しい」と呼びかけました。

4 高知地区 ボランティアで清掃・職員60人が参加



清掃活動に汗を流す職員

JA高知県五台山事務所周辺の一斉清掃活動を3月6日、役員と、関係団体の職員を含む約60人が行いました。地域の環境保全活動も兼ね、役員にボランティアでの参加を呼びかけ実現しました。草刈りや清掃、近隣地域のゴミ拾い、「南吸江三ツ石公園」の除草作業などを実施。2時間ほどで約50袋のゴミや刈り草を集めました。同事務所周辺の一斉清掃活動については、今後も定期的な開催を予定しています。

2 高知地区 おもてなし料理に挑戦 男の料理教室



ロールケーキに飾り付けをする参加者

アグリコレットで3月17日、男の料理教室が開かれ、「男のおもてなし料理」と題して9人がバスやサラダを作ったほか、参加者からのリクエストによる、ロールケーキ作りに挑戦しました。高知県家の光講師でハーブ農園を営む楠瀬朝子さんが指導。ケーキ作りは全員初めての経験で、ハンドミキサーを使った生地作りや、クリームを塗ったスポンジケーキを巻く作業に熱心に取り組みました。料理は、スピードが勝負の「トマトのペロンチン」や高知の柑橘「小夏」と生ハムを合わせたサラダを協力して作りました。メニューはJA高知女性組織協議会が2016年に発行したレシピ本を参考にしています。参加した山中一雄さんは「生地の泡立てや混ぜ方が分かった。孫に作ってあげたい」と粉砂糖やエディブルフラワーを丁寧に飾り付けてケーキを仕上げました。全5回開催の最終回で、参加者には修了証書が手渡されました。JAは2021年度も「男の料理教室」など2講座を開くことを予定しています。

高知農業改良普及所より

地域全体で黄化えそ病対策に 取り組みましょう！

黄化えそ病対策は、ミナミキイロアザミウマを「入れない」「増やさない」「出さない」！

↑ ハウスに入れない

- ◆防虫ネットの設置（開口部）
- ◆周辺の除草
- ◆防草シートの設置
- ◆遮へい・バンカー植物の設置（三尺ソルゴー、クレオメ）

↑ ハウスで増やさない

- ◆紫外線カットフィルムの設置
- ◆農業のローテーション散布（薬剤抵抗性の発達を防ぐ）
- ◆天敵の利用（タバコカスミカメ、スワルスキーカブリダニ）

↑ ハウスから出さない

- ◆栽培終了後の蒸し込み（7日間以上）
- ◆感染株は適切に処理

ビニール袋に入れて、ミナミキイロアザミウマと株の枯死を確認してから適正に処理！

～ミナミキイロアザミウマ防除を徹底し、黄化えそ病の発生しない地域を目指しましょう～

メロン黄化えそ病ウイルス（MYSV）は、ミナミキイロアザミウマ（スリップス）が媒介し、大きな被害をもたらします。



黄化えそ病

ミナミキイロアザミウマ



成虫 幼虫

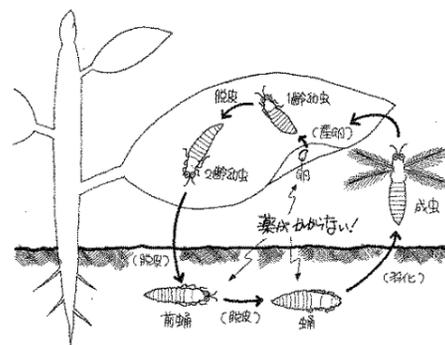
黄化えそ病はなぜ深刻なのか

- ウイルスによる病気であり、発病すると治りません。
- 媒介虫であるミナミキイロアザミウマの防除が困難です。
- ・成虫の体長は約1mmと小さく、肉眼での観察が難しい。
- ・薬剤抵抗性を獲得しやすく、高い防除効果を示す農業が少なくなっています。

ミナミキイロアザミウマの生活環

ミナミキイロアザミウマの卵はキュウリの葉、茎などの組織内に産み込まれます。孵化（ふか）した幼虫はキュウリを加害しながら発育し、2齢幼虫の終わりころになると、植物から地表へ落下します。

卵、幼虫、蛹ともに発育できなくなる低温は10～11℃です。この温度よりも高い温度になるほど、発育は速くなります。



ミナミキイロアザミウマを上手く防除するには

- ・殺虫剤には様々な種類がありますが、有効成分の分子構造からいくつかのグループに大別できます。
- ・同一グループの殺虫剤を連用すると、集団の中に殺虫剤が効きにくい抵抗性個体が徐々に蓄積し、やがて抵抗性個体だけになってしまい、殺虫剤がまったく効かなくなります。
- ・薬剤抵抗性の発達を予防するために、ローテーション防除（散布のたびに異なるグループの農薬を使用すること）を行うことで、抵抗性個体が出現しても次に使用する殺虫剤はよく効くため、害虫密度を低く抑え込むことができます。

主な殺虫剤のグループ

有機リン	ジアミド	呼吸阻害
マクロライド	カーバメート	
ネオニコチノイド	合成ピレスロイド	
IGR（脱皮阻害）	IGR（クチクラ層の硬化）	

黄化えそ病（MYSV）?!と思われる症状を見つけた場合

疑わしい症状を見つけた場合は、JA高知県春野営農経済センターまたは高知農業改良普及所にご相談下さい。

お問い合わせ先 高知県中央西農業振興センター高知農業改良普及所
電話 088-861-0711 FAX 088-861-0660

役立つ! 得する! 情報 えいのう〜

鳥獣被害対策専門員からのお知らせ



鳥獣被害対策専門員 よこさこ ゆうた 横佐古 優太
携帯電話:090-3189-0373

できるところから鳥獣被害対策を

今までイノシシ・シカの被害がなかった地区でも、被害が出るケースが増えています。なぜ被害が拡大しているのか — その理由としては、

- ①動物の数自体が増えている
- ②里山にはエサがあると学習し下りてくるようになったの2つがあります。イノシシ・シカともに高い繁殖力を持ち、全く捕獲しない場合、数年で個体数が倍になります。高知県では毎年イノシシ・シカ合わせて約4万頭を捕獲していますが、それでも被害は抑えきれずにいます。また動物が田畑を魅力的なエサ場だと認識すると、頻りに里山に下りてくるようになります。地区内に放棄果樹・野菜の残渣など動物を誘因するものがある、また藪や耕作放棄地など動物の隠れる場所があることが、被害の拡大につながります。

対策としてはもちろん捕獲も重要ですが、それ以上に、田畑を柵で囲う物理的防除、藪の刈り払いや耕作放棄地の管理などの環境整備を実施することが大切です。鳥獣被害対策専門員も協力します。まずはできるところから始めてみませんか。



電気柵の現地検討会の様子
場所：橋原町

ストップ！ 農作業事故

近年の農作業死亡事故の分析(2)

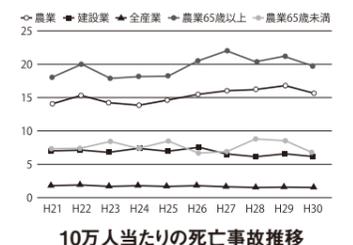
人間工学専門家●石川 文武

各種事故は実数による表現が主流ですが、関連する従事者などに違いがあるため、分母を共通として比較することも一般的になっています。具体的には10万人当たりの事故率を表しています。かつては建設業の事故率が高かったのですが、近年は対策が進み事故率は低下しています。

図は、農業（全体、65歳以上、65歳未満）、建設業、全産業について2009（平成21）年以降の推移を示しています。今や、非農業型産業より事故率が高くなっており、65歳以上の死亡者がその傾向を押し上げていること、65歳未満の事故率は建設業と同じような数値となっていることが分かります。今後は、高齢農業者に対する安全指導と農業機械の安全装備の充実が必要です。

かつて、建設業は3Kの代表といわれ、各産業の中で最も事故率が高くなっていました。しかし、労働関係の法律整備などにより、労使関係のはっきりしている産業では、事故減少への対策が強化され、次第に事故率が低下してきました。事故率低下に向けては、労働者への安全教育の強化の他、作業の機械化・自動化が進んだことがあるといえます。

一方、農業は、近年法人化など組織化された部分も増えつつありますが、大半は労働関係法令の対象外となっており、いわゆる個人事業主の扱いとなっていますから、組織だった安全教育の強化や、安全行動の徹底などが行き渡らない状況があります。農業者の高齢化も一つの原因といえますが、高齢者に引退を勧めたら、日本全体の農業が立ちゆかなくなるので、現状の従事者の年齢構成を若返らせるには長い時間が必要です。今後の展望はこのシリーズの最後の方で示すこととします。



皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

スタンブラーに当たりました。お米、トマト、イチゴが送られてきました。嬉しかったです。小夏もおいしそうですね。
(春野町弘岡中 65歳)

▼スタンブラーに当選おめでとうございます！季節が移り変わり「小夏」を楽しめる時期になりましたね。是非お近くの直販所でお買い求め下さい。

「ようこそJA教室へ！」子供の頃から野菜がどんな風に育つのかを知っていたら成長する子供も食の大切さを一緒に学んでくれるので大変良い企画だと思います。
(高知市十津 65歳)

▼実際に土に触れて、野菜や果物がどのように育つかを学ぶのは非常に貴重な体験になると思っています。JA高知県では、食農教育に引き続き力を入れていきます！

小夏や文旦が好きです。夫の美家にもよく送っています。
(高知市北川添 29歳)

▼私も「小夏」「文旦」が大好きです！これからは「小夏」の時期なので楽しみですね。

早くコロナがおさまって自由にマスクなしで直販所をまわりたいです。新鮮な物を思いっきり買って楽しみたいですね。早く来ることを願っています。
(高知市針木 72歳)

▼マスクをすることが当たり前になっている日常に気持ち落ち込むことも多いですね。早くマスクを外して自由に出かける日が来ることを祈りましょう！その時は直販所巡りを楽しんでください！

道の駅、良心市など大好きで直販所の新鮮な品物を買うことが出来てワクワクします。こうぐりは私の大きな情報源、今年が高知の野菜詰め合わせを県外にも送ろうと予定しています。室戸にも行ってみたいなあと思います。小夏の季節ですね、大好きです。楽しみたいと思います。
(高知市丸ノ内 65歳)

▼「こうぐり」をご愛読いただきありがとうございます！野菜の詰め合わせ喜ばれそうですね。室戸に行かれたら、「道の駅キラメッセ室戸」にもぜひ、お立ち寄りくださいな。

コロナ禍で花の売れ行きもイマイチでしょうね。牧野植物園へユリの展示を見に行ったり、オーペリアの展示を見にいったり楽しませてもらっています。
(高知市神田 71歳)

▼ユリの展示をご覧いただき、ありがとうございます。ユリの展示を見に行ったり、オーペリアの展示を見にいったり楽しませてもらっています。JA高知県でも「新しい生活様式」に合せた販路拡大を目指しています。

私は農業が大好きです。特に祖母と雑談をしながら草刈りや畑の手入れなどをするのが楽しいです。また、田植え(補植)も上手にできるので、おばあちゃんに頼りにされています。ゴールデンウィークには手伝いに行く予定です。
(高知市二宮東町 17歳)

▼「農業が大好き」、その言葉だけでもお祖母様は嬉しいと思います。頼りにされると田植えにも力が入りますね。お手伝い頑張ってください！

私は両親、姉と一緒に高岡の祖父母の家に手伝いに行きます。私は特に力仕事が好きで30kgの米袋を運ぶことが出来ます。おじいちゃん「もう孫にかなわん」と言っています。
(高知市二宮東町 14歳)

▼30kgの米袋が運べるのはすごいですね！ご家族でお手伝いとても素敵ですね。これからもお祖父様に頼りにされると思います。応援しています。

INFORMATION

お知らせ

きゅうり部会よりお願い
空きハウスを探しています
空きハウス活用しませんか

新規就農者独立への取り組み

きゅうり部会では栽培面積の減少を防ぎ産地を維持することを目的に、平成24年より指導農業者の元で新規就農希望者の研修を1年間行い、終了後は独立・就農していただく取り組みを行っています。

研修終了後の新規就農者は中古ハウスを借りてきゅうり栽培をスタートします。つきましては使用していないハウスがある方、その様な情報をお持ちの方は営農渉外課(☎894-5660)へご連絡いただき新規就農者へハウスを貸していただきますようお願いいたします。

研修終了後新規就農者数・栽培面積

平成27年 3名・60㍓	平成28年 2名・30㍓	平成29年 1名・29㍓
平成30年 1名・15㍓	令和1年度 1名・10㍓	令和2年度 1名・18㍓

【連絡先一覧表】

春野支所	営農経済センター
総務課 894-3033	店舗課 828-6116
信用課 894-2203	JAグリーンはるの店 828-6161
共済課 894-3304	配送部門 828-6113
金融渉外課 894-3309	重油係 828-6115
高吾サービスセンター(事故処理) 892-3605	Aコープはるの 894-2225
営農経済センター	養蠶出荷・加工場 894-5424
販売課 894-2222	はるちゃんのアイス屋 894-2760
営農渉外課 894-5660	
購買課 828-6111	JA子会社
ビニール加工場 894-4264	(株)JAエナジーこうち 春野給油所 828-6212
農機センター 894-5290	ルミエールはるの (フリーダイヤル24時間) 0800-200-5911